

ITIL[®] 4 マネージングプロフェッショナル移行コース

コース情報

認定資格 : ITIL[®] 4 マネージングプロフェッショナル **認定機関** : PeopleCert / AXELOS
期間 : 5日間 **提供言語** : 英語
分野 : ITサービスマネジメント
提供方法 : 集合研修

コース詳細 :

ITIL[®] 4 マネージングプロフェッショナル移行モジュールは、ITIL V3のプロフェッショナル達がITIL 4認定スキームに簡単に移行できるようにするブリッジコースです。ITIL 4 マネージングプロフェッショナル移行モジュールは、ITILエキスパートまたは17クレジット以上保有している方が1つのコースと1つの試験を通じてITIL 4 マネージングプロフェッショナル認定を取得できるように設計されています。

本コースの目的は、受講者が以下を理解できるようになることです :

- ITIL 4ファンデーションの主要な概念と定義。これには、ITIL V3とITIL 4との比較とそれらの実際の適用方法との主な違い
- ITIL マネージングプロフェッショナルの各モジュールにおける主要な要素 「作成・提供・サポート (CDS)」、「利害関係者の価値を主導 (DSV)」、「ハイベロシティIT (HVIT)」、「指示・計画・改善 (DPI)」

対象者 :

ITIL 4 MP移行モジュールのトレーニングは、ITサービスマネジメントの経験が豊富で、ITIL 4の知識と適用スキルの開発を希望するすべてのITSM実践者の方を対象としています。

ITIL 4 マネージングプロフェッショナル移行試験を受験するには、受験者はITILエキスパートまたはITIL V3ファンデーションおよびインターミディエイトまたはプラクティシヨナから最低17クレジットを取得している必要があります。

学習目標：

コースの学習目標は、マネージングプロフェッショナル移行試験シラバスの以下の学習成果に基づいています：

- サービスマネジメントの重要な概念を理解できる
- ITILの従うべき原則が、組織がサービスマネジメントを適用および適応するのにどのように役立つかを理解できる
- サービスマネジメントの4つの側面を理解できる
- ITILサービスバリュー・システムの目的と構成要素を理解できる
- サービスバリュー・チェーンのアクティビティ、およびそれらの相互作用を理解できる
- サービスを作成、提供、サポートするためのサービスバリュー・ストリームを計画および構築する方法を理解できる
- バリューストリームを使用して新しいサービスを設計、開発、移行する方法がわかる
- バリューストリームを使用してユーザーサポートを提供する方法がわかる
- キュー(待ち)とバックログの管理、作業の優先順位付けなど、サービスを作成・提供・サポートするための作業とアクティビティの調整、優先順位付け、構造化の方法がわかる
- カスタマージャーニーの設計方法を理解できる
- 利害関係者との関係を促進する方法がわかる
- 需要を形成し、提供するサービスを定義する方法がわかる
- 顧客およびユーザーをオンボードおよびオフボードする方法がわかる
- 継続的な価値の共創（サービス消費/供給）を確保するために一緒に行動する方法がわかる
- サービスの価値を実現し検証する方法がわかる
- デジタルエンタープライズの高速性に関する概念を理解できる
- ハイベロシティITが以下に関連していることを理解できる：
 - サービスマネジメントの4つの側面
 - ITILサービスバリュー・システム
 - サービスバリュー・チェーン
 - デジタルプロダクト・ライフサイクル
- 以下の原則、モデル、および概念を理解し、活用方法を理解できる：
 - 倫理
 - 安全なカルチャー
 - リーンなカルチャー
 - トヨタのカタ
 - リーン/アジャイル/レジリエント/継続
 - サービス優位のロジック
 - デザイン思考
 - 複雑さの思考
- コントロールの範囲を特定し、この範囲内で：
 - 目標と要件をカスケードする方法がわかる



- 効果的な方針、コントロール、ガイドラインを定義する方法がわかる
- 意思決定機関を適切なレベルに配置する方法がわかる
- DPIにおけるリスクとリスク管理の役割を理解できる
- ガバナンスがDPIに与える影響を理解できる
- コントロールが十分であるが、過度ではないことを確認する方法がわかる
- 組織変更の管理の性質、範囲、および潜在的な利点を理解できる
- コミュニケーションと組織変更の管理の主要な原則と手順の使用方法がわかる

受講前提条件：

ITIL V3認定から17クレジット以上保有していること

コーススケジュール：

第一部：

1日目	2日目	3日目
コース紹介	パート2： ITIL 4 作成・提供・サポート (続き)	パート3： ITIL 4 利害関係者の価値を主導 (続き)
パート1： ITIL 4 ファンデーション	パート3： ITIL 4 利害関係者の価値を主導	パート4： ITIL 4 ハイベロシティIT
パート2： ITIL 4 作成・提供・サポート		

第二部：

4日目	5日目
パート4： ITIL 4 ハイベロシティIT (続き)	パート5： ITIL 4 指示・計画・改善 (続き)
パート5： ITIL 4 指示・計画・改善	試験対策



試験日：

試験対策
試験

コース概要：

コースの紹介

パート1： ITIL 4 ファンデーション

- サービスマネジメントの主要な概念
- ITILの従うべき原則
- サービスマネジメントの4つの側面
- サービスバリュー・システムとサービスバリュー・チェーン

パート2： 作成・提供・サポート（CDS）

- ITSMプロフェッショナリズム
- リソースプランニングおよび管理
- 作成・提供・サポートのハウツー
- 業務の優先度付けと管理

パート3： 利害関係者の価値を主導（DSV）

- カスタマージャーニー
- 関係の構築
- 需要の形成とサービス提供の定義
- 顧客とユーザーのオンボーディングとオフボーディング
- サービス価値の実現と妥当性確認

パート4： ハイペロシティIT（HVIT）

- イントロダクション
- ハイペロシティITの主要な概念
- ハイペロシティITの目標
- ハイペロシティITIL
- ハイペロシティITカルチャー

パート5： 指示・計画・改善（DPI）

- イントロダクション
- 指示・計画・改善の主要な概念
- GRCの役割と、サービスバリュー・システムへの統合
- 組織変更の管理



試験情報

試験概要

提供方法	オンラインまたは紙媒体
資料の持ち込み	不可
試験監督	あり
試験時間	90分間。試験言語が母国語でない受験者には+25%の延長時間あり
問題数	40問の多岐選択式問題 (1問正答につき1点) <ul style="list-style-type: none">ブルームレベル2の問題が23問ブルームレベル3の問題が17問
合格ライン	70% (28問正答)

受験前提要件

- ITIL V3認定から17クレジット以上保有していること

Relevant trademarks

ITIL is a registered trade mark of AXELOS Limited, used under permission of AXELOS Limited. All rights reserved.

